

平成 16 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況（連結）
及び通期業績予想（連結・個別）の修正について

平成 16 年 2 月 6 日

会 社 名 セントケア株式会社 (コード番号：2374 登録銘柄)
(URL <http://www.saint-care.com>)
代 表 者 役 職 名 代表取締役社長
氏 名 村上 美晴
問い合わせ先 責任者役職名 取締役管理部長
氏 名 関根 竜哉 (Tel : (03) 3538 - 2943)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高又はこれに相当する事項の会計処理の方法の最近連結 : 無
会計年度における認識の方法との相違の有無

連結及び持分法の連結範囲の異動の状況 : 無

2. 平成 16 年 3 月期第 3 四半期業績の概況（平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (単位：百万円、%)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		当 期(四半期) 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16 年 3 月期第 3 四半期	8,052	()	467	()	432	()	176	()
15 年 3 月期第 3 四半期								
(ご参考)15 年 3 月期	9,458		398		390		161	

(注)1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。
2. 平成 16 年 3 月期第 3 四半期は、四半期決算としての初年度であるため、前年同期との比較はしていません。

[第 3 四半期業績に関する補足説明]

当第 3 四半期におけるわが国の経済は、デフレ不況が長期化するなか企業収益の改善や設備投資に明るさが見え始めましたが、景気の先行きの不透明感から依然として厳しい状況が続きました。

このような状況の中で当社グループでは、主に都市部における地域密着型の事業展開を推進してまいりました結果、売上高は 8,052 百万円、営業利益は 467 百万円、経常利益は 432 百万円、第 3 四半期純利益は 176 百万円となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象
該当する事項はありません。

3. 平成 16 年 3 月期の業績予想（平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日）の修正

平成 15 年 11 月 25 日付「平成 16 年 3 月期中間決算短信（連結、個別）」にて発表いたしました平成 16 年 3 月期（平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日）の連結業績予想及び個別業績予想を、下記のとおり修正いたします。

(1) 平成 16 年 3 月期 連結業績予想の修正

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	11,392	627	282
今回発表予想（B）	10,829	593	251
増減額（B - A）	562	33	31
増減率	4.9%	5.3%	11.1%
（ご参考） 前期実績（平成 15 年 3 月期）	9,458	390	161

（ご参考）1 株当たり予想当期純利益（通期） 10,479 円 99 銭

(2) 平成 16 年 3 月期 個別業績予想の修正

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	10,800	603	269
今回発表予想（B）	10,359	603	269
増減額（B - A）	441		
増減率	4.1%		
（ご参考） 前期実績（平成 15 年 3 月期）	9,157	376	153

（ご参考）1 株当たり予想当期純利益（通期） 11,246 円 56 銭

(3) 修正の理由

連結業績予想について

主力サービスであります訪問介護サービスおよび訪問入浴介護サービスの業績は、概ね計画通りに推移しておりますが、訪問看護サービスおよび住宅リフォーム事業は、当初の計画を下回り、また新規サービスでありますグループホームおよびデイサービスの開設の一部来期へのずれ込みや、子会社でありますケアプランサービス(株)の事業の立ち上がりの遅れにより、前回発表の業績予想を若干下回る見通しであります。

個別業績予想について

主力サービスであります訪問介護サービスおよび訪問入浴介護サービスの業績は、概ね計画通りに推移しておりますが、訪問看護サービスおよび住宅リフォーム事業は、当初の計画を下回り、また新規サービスでありますグループホームおよびデイサービスの開設が一部来期へずれ込んだため、売上高は前回発表の業績予想を下回る見通しであります。ただし、経常利益および当期純利益におきましては、訪問介護サービスおよび訪問入浴介護サービスのお客様一人

あたりの売上単価アップにより、利益率が改善しておりますため、前回発表の予想を達成できるものと考えております。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報を基に作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上